

1 題材名 歌詞や旋律から場面を想像し、表現を工夫しよう

2 題材の目標

- 曲想の変化を感じ取ったり、情景を思い浮かべたりしながら、進んで歌おうとする。
(音楽への関心・意欲・態度)
- 曲想を捉え、旋律の感じに合った声や歌い方を工夫する。
(音楽表現の創意工夫)
- 旋律の流れやフレーズを意識し、それぞれの曲の特徴やよさを生かして表現する。
(音楽表現の技能)

3 [共通事項] 旋律、フレーズ、問いと答え、強弱

4 題材について

本題材の楽曲「とんび」は、大空を舞うとんぴの様子を、歌詞だけでなく旋律の流れからも感じ取れる楽曲である。また、3段目(9~12小節)は2羽のとんぴの関係性を想像することで、いろいろな歌い方を工夫することができる。児童一人一人がどのように考え、表現を工夫したのか、言語活動の場を設定することで、自分とは違う考え・表現の工夫を知り、表現の面白さを感じ取っていくことができる教材である。

本校では、国語科において、「読む力を高めるための学習指導の在り方」という研究テーマのもと、研究を進めている。その中で、児童が自分の考えを明確にして文章を読み取る力に課題が見られることが分かった。これは、授業中の協働的な学びが不足していたからではないかと考え、今年度は、「交流活動の充実」を図っている。その結果、自分の考えや思いをもち、それを自らの言葉で相手に伝える力が、少しずつではあるが身に付いてきている。音楽科においても、曲を聴いて感じたことや、どのように表現したいかという「思い」を、自らの言葉で表現する場を意識的に設定している。その中で、感じ取ったことや聴き取ったことが音楽のどの要素と結びついているのかを考えたり、「思い」を具体的にどのように音楽表現に生かすかという「意図」をもったりする力が不足しているところに課題があると感じた。

そこで、本題材では、表現活動と[共通事項]とを関連付ける活動を重点的に行う。児童が聴き取ったり感じ取ったりした曲想が、音楽のどのような要素からもたらされたのかを考える活動を通して、[共通事項]について意識できるようにするとともに、[共通事項]を「音楽のもと」として提示し、それを手がかりにして音楽表現の工夫を考え、思いや意図をもって歌うことができるようにする。さらに、音楽を聴いて感じたことを伝え合ったり、曲の表現方法について話し合ったりする活動も行い、児童同士の協働的な学び合いの場を充実させていく。

5 学習活動と評価の計画(7時間扱い)

次	時	学習内容・活動	評価の観点			主な評価規準 (評価方法)
			関	創	技	
1	1	「ゆかいに歩けば」の範唱を聴き、前半と後半の楽曲の特徴を話し合ったり、歌詞唱をしたりする。	○			「ゆかいに歩けば」の旋律の特徴に関心をもち、歌う学習に進んで取り組もうとしている。 (発言・歌っている様子・顔の表情)

	2	<p>楽曲の特徴と〔共通事項〕（音楽のもと）との結び付きを考える。</p> <p>スタックアートについて理解し、歌い方を工夫する。</p>	○	<p>前半と後半の曲想の違いと音楽の構造との関連に気付き、〔共通事項〕を意識しながら工夫して歌っている。</p> <p>（発言・歌っている様子・ワークシート）</p>
	3	<p>表現方法の異なる「小さな世界」の演奏を聴き、聴き取ったり感じ取ったりした曲想と〔共通事項〕（音楽のもと）とを結び付ける。</p>	○	<p>演奏を聴いて、表現方法を変えることで曲想も変化することに気付き、感じ取ったことを〔共通事項〕と関連付けて考えている。</p> <p>（聴いている様子・ワークシート）</p>
	4	<p>とんびの鳴き声や飛び方の映像・写真を見て、とんびのイメージを膨らませる。</p> <p>「とんび」の範唱を聴いて、曲のイメージを記録したり、曲や視聴覚資料から得た自分のとんびのイメージ（情景）を具体化させたりする。</p> <p>歌詞唱をする。</p>	○	<p>とんびのイメージを具体化させたり、歌詞唱をしたりする学習に、進んで取り組もうとしている。</p> <p>（発言・歌っている様子・ワークシート）</p>
2	⑤	<p>〔共通事項〕（音楽のもと）を手がかりにして、自分の思いや曲のイメージに合う表現の工夫を考える。</p>	○	<p>〔共通事項〕を手がかりにして、自分の思いや曲のイメージに合う表現の工夫を考えたり、伝え合ったりしている。</p> <p>（発言・歌っている様子・ワークシート）</p>
	6	<p>表現の工夫を生かして「とんび」を歌う。</p> <p>発表会をする。</p>	○	<p>曲想に合った表現を工夫しながら、自然で無理のない歌い方で歌っている。</p> <p>（歌っている様子・歌声の聴取）</p>

6 本時の指導

(1) 目標 〔共通事項〕を手がかりにして、自分の思いや曲のイメージに合う表現の工夫をしている。

(2) 展開

学習活動・内容	活動への支援と評価（◎は評価の観点）
<p>1 発声練習をし、「ゆかいに歩けば」「とんび」を歌う。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <p>◎ どんな表現の工夫をしたら、イメージに合うように歌えるかな。</p> <p>3 表現の工夫を考える。</p> <p>(1) 自分タイム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・〔共通事項〕（音楽のもと）について確認し、前半と後半の曲の雰囲気の違いを意識しながら歌う。（「ゆかいに歩けば」） ・声をそろえて楽しく歌うことで、本時への意欲を高める。 ・〔共通事項〕（音楽のもと）を手がかりにするとよいことを確認し、課題解決の見通しがもてるようにする。 ・音楽記号だけでなく、言葉で表現してもよいことを伝える。

<p>自分がイメージしたとんびの様子を表現するには、どのように歌ったらよいか考える。</p> <p>(2) グループタイム</p> <p>自分で考えた表現の工夫を伝え合い、よりイメージに合うようにするにはどうしたらよいか考える。</p> <p>〈予想される児童の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子で呼びかけ合っているようにしたいから、親鳥のときは大きく、雛鳥のときは小さく歌いたい。 ・段々遠くへ行く様子を表現したいから、少しずつ小さくしていきたい。 ・優しく語りかけるような雰囲気を表現したいから、あまり切らずに、小さな声でなめらかに歌いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸惑っている児童には、〔共通事項〕（音楽のもと）を手がかりにするよう助言したり、どんな表現をしたいか聞いて一緒に考えたりすることで、自分のイメージを表現の工夫に表すことができるようにしたい。 ・同じような考えの子供同士でグループをつくることで、一人一人が思いをもって音楽表現の工夫を考えることができるようにする。 ・実際に歌いながら表現方法を考えるように伝える。タブレットに録音し、それを聴きながら試行錯誤する過程の中で、よりよい表現の工夫を見いだすことができるようにする。
<p>(3) みんなタイム</p> <p>発表したり、友達の演奏を聴いたりし、感想を伝え合う。</p> <p>4 本時の学習の振り返りと次時の学習課題の確認をする。</p> <p>㊦ 強弱をつけたり、音の動きやフレーズを意識したりすると、イメージに合うように歌うことができる。</p> <p>㊧ 強弱を工夫したり、フレーズを意識したりすると、イメージに合うように歌えることが分かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌を歌うときは、歌い方を工夫することが大切だと分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2～3グループ発表し、よさや改善点を伝え合うことで、よりよい工夫を考えることができるようにする。 <p>㊨ 〔共通事項〕を手がかりにして、自分の思いや曲のイメージに合う表現の工夫を考えることができたか。</p> <p style="text-align: center;">（発言・歌っている様子・ワークシート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあてを振り返り、本時で学んだことをまとめる。 ・旋律の流れやフレーズを意識したり、強弱を工夫したりすることで、音楽表現の幅が広がることに気付くことができるようにしたい。 ・書き終わった児童から交流をするように伝える。 ・次時は発表会をすることを伝え、次回の学習への意欲を高める。

別添資料3 授業で用いたワークシート①

⑥ 歌い方を変えると、どんなふうにかきこえるかな。

音楽のとくちょう	歌い方	感じたこと
強弱	強く f (フォルテ)	
	弱く p (ピアノ)	
	だんだん強く （クレシェンド）	
	だんだん弱く （デクレシェンド）	
フレーズ	大きなまとまりで	
	小さなまとまりで	

⑦ 歌い方を変えると、（

音楽のもと♪

☆音楽を表すいろいろな言葉

<p>速さや強さ，長さなどを表す言葉</p>	<p>ゆっくり 少しゆっくり だんだんゆっくり 速い 少し速い だんだん速く 強い 少し強い だんだん強く 弱い 少し弱い だんだん弱く 長く 短く 大きく だんだん大きく 小さく だんだん小さく</p>
<p>せん律などの動きを表す言葉</p>	<p>上がっていく 下がっていく 音がとぶ 動きが少ない</p>
<p>音楽のしくみを表す言葉</p>	<p>くり返す よびかけたり答えたりする また出てくる 変わる</p>
<p>えんそうのしかたを表す言葉</p>	<p>同時に ずらして 重ねて 一人で みんなで 数人で</p>
<p>音楽の感じを表す言葉</p> <p>※自分で見つけたら、感じたりした言葉も書いておこう！</p>	<p>明るい 楽しい 元気な 生き生きとした かるやかな はずんだ にぎやかな うれしそうな どうどうとした いさましい はく力のある かがやかしい 美しい おどけた はなやかな きらめくような うっとり やさしい ゆめ見るような かわいらしい なめらかな やわらかい 静かな ゆったりとした さわやかな ふんわりとした はげしい しんみり さびしい 暗い 悲しい どっしり しずむような いそがしそうな ささやくような 力強い とびはねるような おどるような きれいな なつかしい こわい おそろしい 重々しい のどかな なつかしい いやされる ワクワク ドキドキ ウキウキ ソワソワ 落ち着く 続く 終わる</p>

①め **どんな「とんび」を表現したいか 考えよう。**

☆とんびを見たイメージ（飛んでいる様子，鳴き声などから）

--

☆「とんび」という曲のイメージ（きいてみて，歌ってみて）

--

☆どんなとんびにしたい？ それを表現するために，どんな風に歌う？

とんぴの様子	
どんなふう に歌う？ <input type="radio"/> 強弱は？ ・強く f ・やや強く mf ・やや弱く mp ・弱く p ・だんだん強く <===== ・だんだん弱く ====> など <input type="radio"/> フレーズは？ ・大きなまとまり ・小さなまとまり など ※言葉で書いても， 音楽記号を使っ ても，どちらでも いいです。	とんぴの楽譜